

平成31年度 全国学力・学習状況調査
— 鈴鹿市の教科に関する調査結果概要 —



令和元年10月

鈴鹿市教育委員会事務局教育指導課

目次

1	調査の目的	・・・・・・・・P	1
2	調査対象・実施学校・実施児童生徒数（本市）	・・・・・・・・P	1
3	調査日時・内容	・・・・・・・・P	1
4	調査結果の概要		
	（1） 平均正答率（本年度）	・・・・・・・・P	2
	（2） 経年変化		
	① 全国と鈴鹿市との差	・・・・・・・・P	2
	② 記述式問題における鈴鹿市と全国の平均無解答率の差	・・・・・・・・P	4
	③ 全国の平均正答率を上回った教科数の割合の経年変化 （国語，算数・数学）	・・・・・・・・P	7
5	各教科の調査結果		
	（1） 小学校 国語	・・・・・・・・P	8
	（2） 小学校 算数	・・・・・・・・P	9
	（3） 中学校 国語	・・・・・・・・P	10
	（4） 中学校 数学	・・・・・・・・P	11
	（5） 中学校 英語	・・・・・・・・P	12
6	各教科に関する質問紙調査の結果		
	（1） 小学校国語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・P	13
	（2） 小学校算数に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・P	15
	（3） 中学校国語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・P	17
	（4） 中学校数学に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・P	19
	（5） 中学校英語に関する質問紙調査の結果	・・・・・・・・P	21

1 調査の目的

全国学力・学習状況調査は、『義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する』ことを目的として、文部科学省が、学校の設置管理者である都道府県教育委員会、市町村教育委員会、学校法人、国立大学法人、公立大学法人等の協力を得て実施される。

2 調査対象・実施学校・実施児童生徒数（本市）

調査対象	調査（教科） 実施校	実施児童生徒数		
		国語	算数 (数学)	英語
小学校 6年生	30校	1,718人	1,718人	—
中学校 3年生	10校	1,718人	1,718人	1,720人

3 調査日時・内容

<調査日時> 平成31年4月18日（木）

<調査内容>

◇ 教科に関する調査（国語，算数・数学，英語）

	国語		算数			
	小学校	◎話すこと・聞くこと	3問	◎数と計算		7問
	◎書くこと	3問	◎量と測定	3問		
	◎読むこと	3問	◎図形	2問		
	◎伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	5問	◎数量関係	7問		
	国語		数学		英語	
	◎話すこと・聞くこと	3問	◎数と式	5問	◎聞くこと	7問
中学校	◎書くこと	2問	◎図形	4問	◎話すこと	(参考値)
	◎読むこと	3問	◎関数	3問	◎読むこと	6問
	◎伝統的な言語文化と国語の 特質に関する事項	2問	◎資料の活用	4問	◎書くこと	8問

※今年度から、「知識」と「活用」を一体的に問う問題となっている。

◇ 質問紙調査

児童生徒に対する質問紙調査	学校に対する質問紙調査
学習意欲，学習方法，学習環境，生活の諸側面等に関する質問紙調査	学校における指導方法に関する取組や学校における人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する質問紙調査

4 調査結果の概要

(1) 平均正答率（本年度）

- 小学校は，国語で全国平均を上回った。算数で全国平均を若干下回った。
- 中学校では全ての教科において，全国平均を下回った。

表1 平成31年度 平均正答率（小6） (%)

小6	国語	算数
鈴鹿市	64	66
三重県(公立)	64	67
全国(公立)	63.8	66.6

表2 平成31年度 平均正答率（中3） (%)

中3	国語	数学	英語
鈴鹿市	69	57	53
三重県(公立)	72	60	56
全国(公立)	72.8	59.8	56.0

(2) 経年変化

①全国と鈴鹿市との差

- 小学校では，今年度，初めて国語で全国平均を上回った。算数においても，学力調査開始以来，国との差が最も縮まった。
- 中学校では，国語，数学ともに昨年度のB問題の結果より，国との差を縮めたが，依然，全国平均との差がある。
- 中学校英語は，今年度初めて実施されたため，経年変化をみることはできないが，今年度は，全国平均を3ポイント下回った。

※今年度は，AとB問題が一体化されたため，経年変化はB問題と検証している。

表3 過去5か年の鈴鹿市と全国の平均正答率（小6）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
国語					
鈴鹿市	65.0	57.7	57.0	53.0	64.0
国	65.4	57.8	57.5	54.7	63.8
差	▲ 0.4	▲ 0.1	▲ 0.5	▲ 1.7	0.2
算数					
鈴鹿市	42.5	46.4	44.0	50.0	66.0
国	45.0	47.2	45.9	51.5	66.6
差	▲ 2.5	▲ 0.8	▲ 1.9	▲ 1.5	▲ 0.6

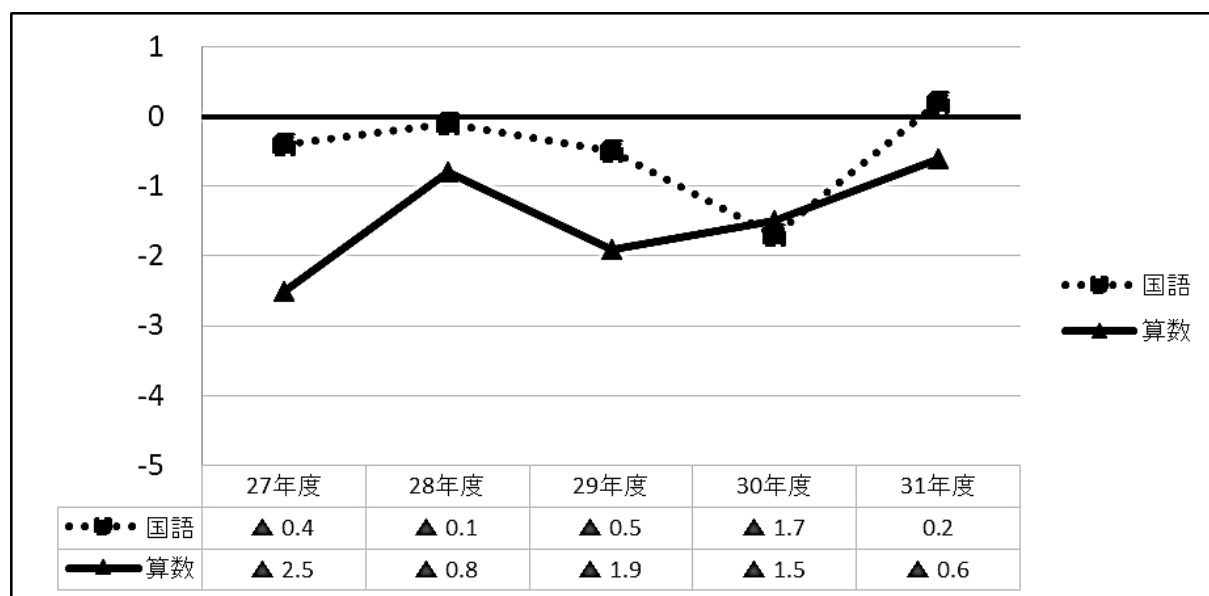


図1 鈴鹿市と全国平均との差の経年変化（小6）

表4 過去5か年の鈴鹿市と全国の平均正答率（中3）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
国語					
鈴鹿市	62.8	62.9	71.0	57.0	69.0
国	65.8	66.5	72.2	61.2	72.8
差	▲ 3.0	▲ 3.6	▲ 1.2	▲ 4.2	▲ 3.8
数学					
鈴鹿市	38.4	41.1	45.0	43.0	57.0
国	41.6	44.1	48.1	46.9	59.8
差	▲ 3.2	▲ 3.0	▲ 3.1	▲ 3.9	▲ 2.8

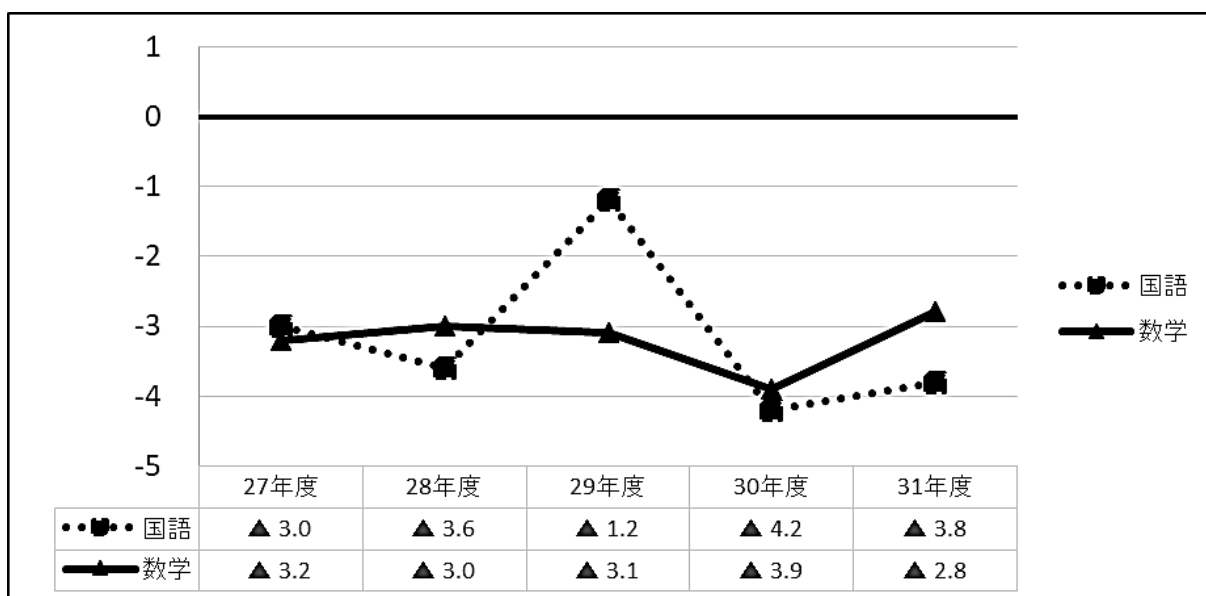


図2 鈴鹿市と全国平均との差の経年変化（中3）

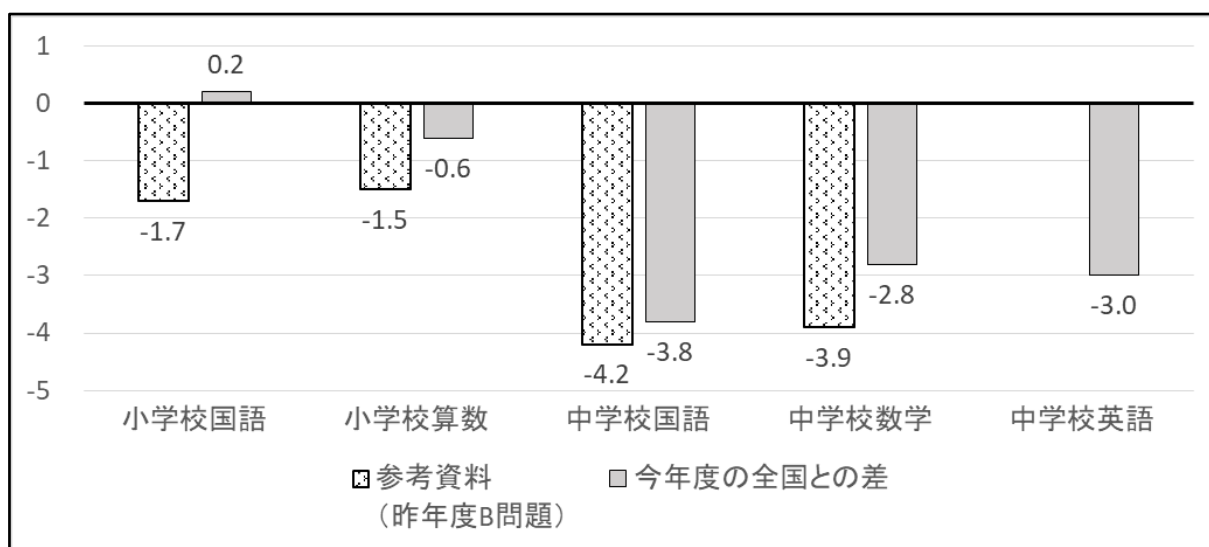


図3 昨年度と今年度の鈴鹿市と全国平均との差（小6・中3）

② 記述式問題における鈴鹿市と全国の平均無解答率の差

- 小学校では、国語・算数ともに全国との差が縮まってきている。
- 中学校では、国語で差が縮まった。
- 中学校の英語では、全国より無解答率が少なかった。
- 中学校の数学は、昨年度全国を超えていたが、今年度は、差が開いた。

※今年度は、AとB問題が一体化されたため、経年変化はB問題と検証している。

表5 過去5か年の鈴鹿市と全国の無解答率（小6）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
国語					
鈴鹿市	10.1	9.2	9.1	9.2	8.7
全国	8.7	8.4	8.3	6.9	7.7
差	▲ 1.4	▲ 0.8	▲ 0.8	▲ 2.3	▲ 1.0
算数					
鈴鹿市	18.6	15.0	11.0	13.6	6.3
全国	16.5	14.3	9.5	12.4	5.8
差	▲ 2.1	▲ 0.7	▲ 1.5	▲ 1.2	▲ 0.5

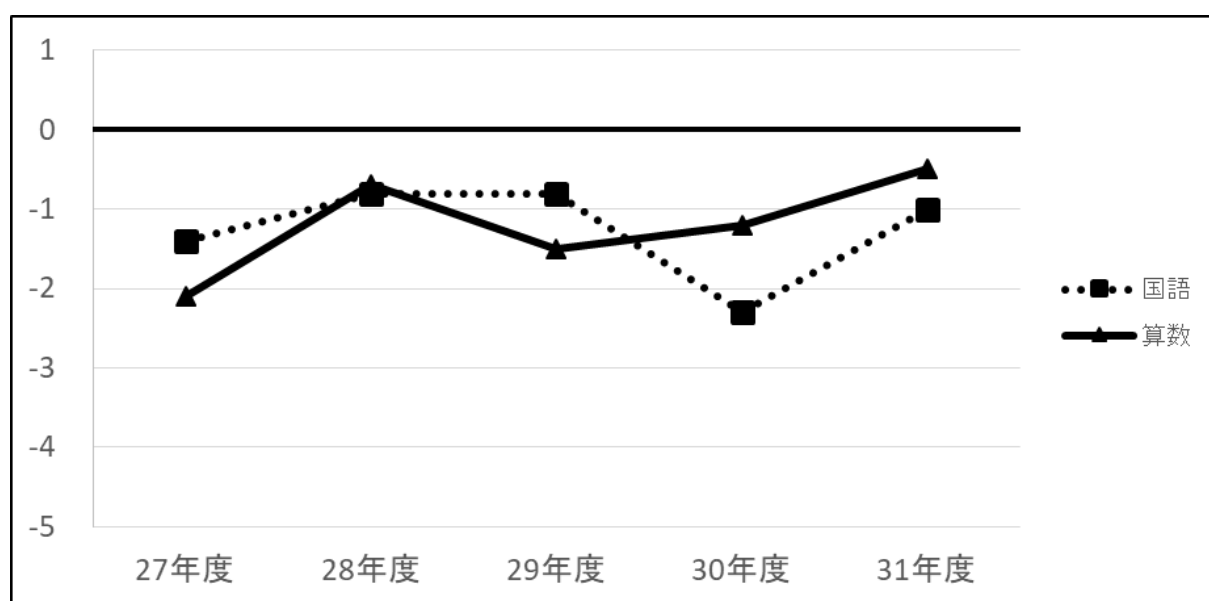


図4 鈴鹿市と全国の無解答率の差の経年変化（小6）

表6 過去5か年の鈴鹿市と全国の無解答率（中3）

	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
国語					
鈴鹿市	7.7	14.7	9.8	10.4	7.2
全国	5.9	12.2	9.2	8.4	6.2
差	▲ 1.8	▲ 2.5	▲ 0.6	▲ 2.0	▲ 1.0
数学					
鈴鹿市	26.9	19.5	26.0	22.8	18.1
全国	23.2	19.4	25.2	22.9	17.1
差	▲ 3.7	▲ 0.1	▲ 0.8	0.1	▲ 1.0

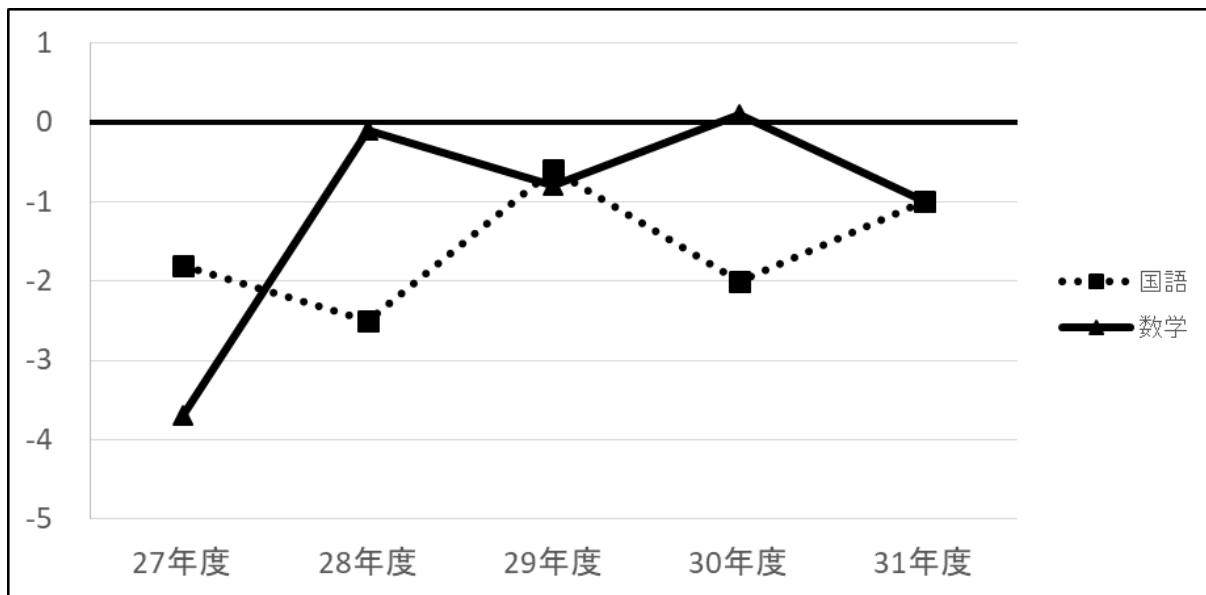


図5 鈴鹿市と全国の無解答率の差の経年変化（中3）

表7 英語の鈴鹿市と全国の無解答率（中3）

31年度	
英語	
鈴鹿市	25.8
全国	26.2
差	0.4

③ 全国の平均正答率を上回った教科数の割合の経年変化（国語，算数・数学）

○ 年々，国の平均正答率を上回った教科数の割合が増加してきている。特に，今年度は，伸び率が高かった。

※H27～30 は，小学校（30 校）国 A・B，算 A・B 中学校（10 校）国 A・B，数 A・B の合計 160 教科

※H31 は，小学校（30 校）国，算 中学校（10 校）国，数の合計 80 教科

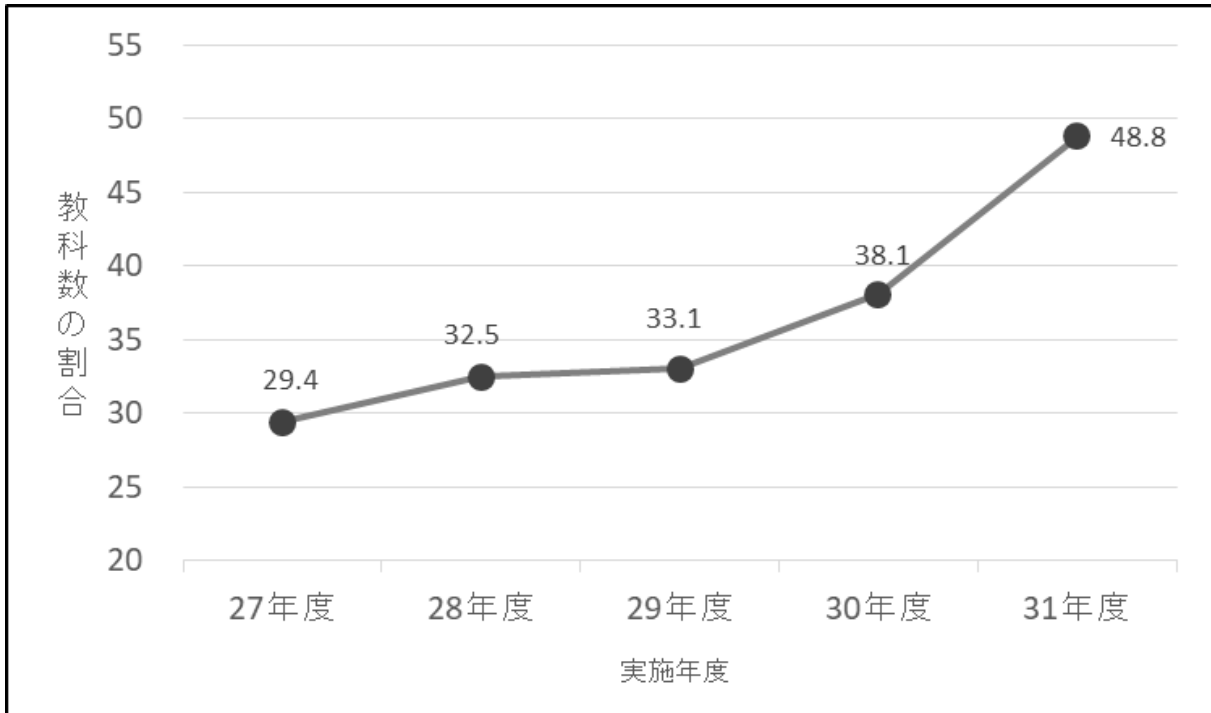


図6 全国平均を上回った教科数の割合の経年変化

5

各教科の調査結果

(1) 小学校 国語

※全国平均との比較について（H27～H30 は国語 B の結果のため、参考資料）

- 「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の領域について、改善傾向にある。
- 「書くこと」、「読むこと」の領域について、全国平均値を上回った。
- 「話すこと・聞くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域について、全国平均値を下回った。

表8 小学校国語における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）

小学校国語		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
学習指導要領の領域等	全体	65.0	65.4	-0.4	57.7	57.8	-0.1	57.0	57.5	-0.5	53.0	54.7	-1.7	64.0	63.8	0.2
	話すこと・聞くこと				51.0	51.1	-0.1	64.0	64.9	-0.9	62.9	64.6	-1.7	72.2	72.3	-0.1
	書くこと	60.5	61.1	-0.6	53.8	53.4	0.4	52.2	53.4	-1.2	44.1	45.6	-1.5	55.0	54.5	0.5
	読むこと	68.0	68.1	-0.1	68.9	69.3	-0.4	49.1	49.2	-0.1	47.7	50.8	-3.1	82.2	81.7	0.5
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項													52.5	53.5	-1.0
問題形式	選択式	68.3	68.6	-0.3	58.9	59.9	-1.0	63.7	64.6	-0.9	65.8	67.6	-1.8	75.1	75.1	0.0
	短答式	79.9	80.8	-0.9				69.6	69.2	0.4				47.6	48.7	-1.1
	記述式	55.1	55.4	-0.3	55.8	54.7	1.1	40.4	41.7	-1.3	31.5	33.2	-1.7	58.1	57.6	0.5

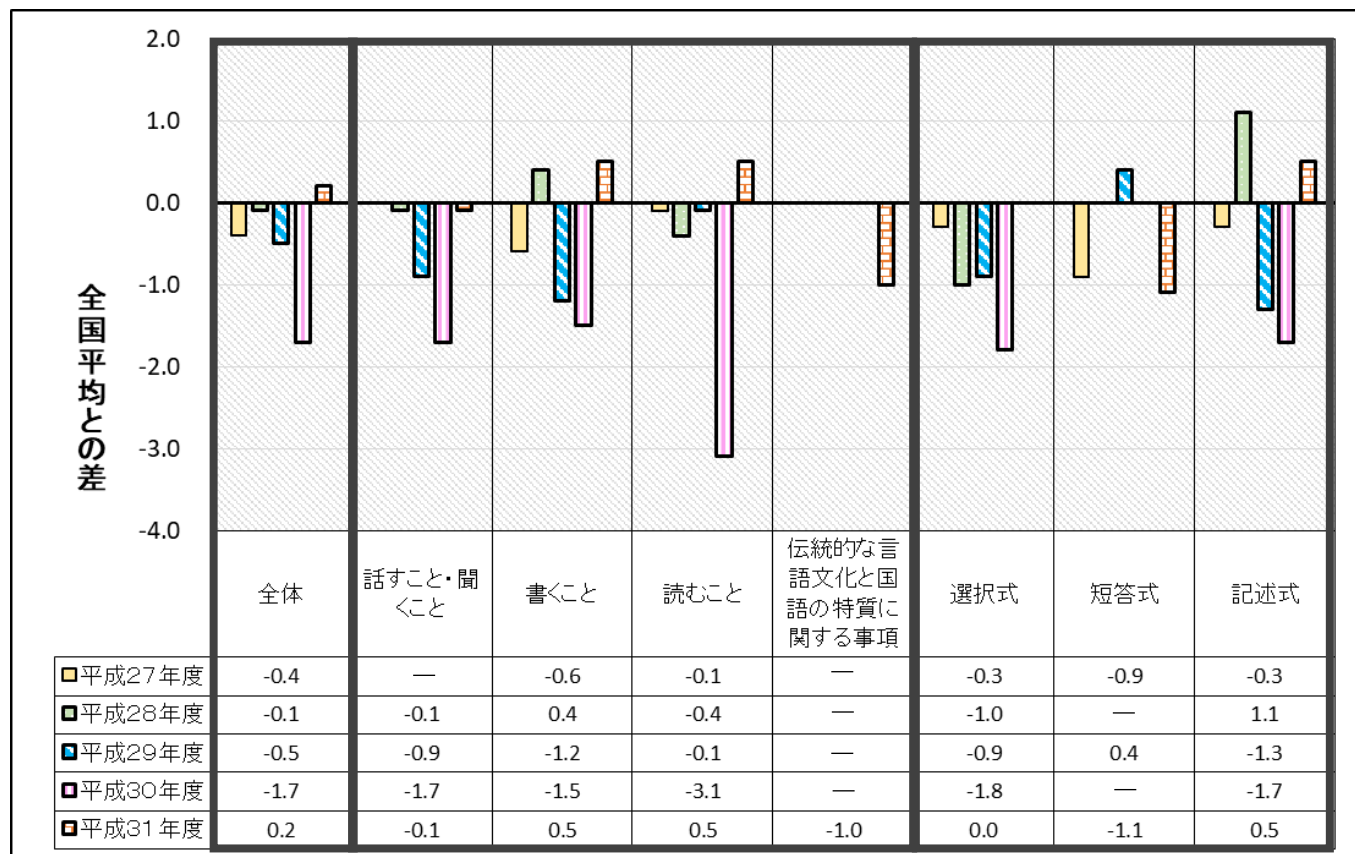


図7 小学校 国語（H27～H31 経年変化）

(2) 小学校 算数

※全国平均との比較について（H27～H30 は算数Bの結果のため、参考資料）

- 「数と計算」, 「図形」, 「数量関係」の領域について, 改善傾向にある。
- 「数と計算」, 「数量関係」の領域について, 全国平均値を上回った。
- 「量と測定」, 「図形」の領域について, 全国平均値を下回った。

表9 小学校算数における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）

小学校算数		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
	全体	42.5	45.0	-2.5	46.4	47.2	-0.8	44.0	45.9	-1.9	50.0	51.5	-1.5	66.0	66.6	-0.6
学習 指導要領 の領域等	数と計算	39.7	42.4	-2.7	43.2	44.4	-1.2	51.5	52.8	-1.3	56.2	58.4	-2.2	64.1	63.2	0.9
	量と測定	39.7	41.7	-2.0	42.9	43.7	-0.8	43.0	47.0	-4.0	50.2	52.4	-2.2	50.3	52.9	-2.6
	図形	43.4	45.6	-2.2	35.7	36.3	-0.6	10.1	13.2	-3.1	59.1	59.9	-0.8	76.2	76.7	-0.5
	数量関係	40.9	43.0	-2.1	42.2	42.9	-0.7	37.4	40.0	-2.6	43.0	45.1	-2.1	69.1	68.3	0.8
問題形式	選択式	68.3	70.6	-2.3	57.2	56.7	0.5	50.8	54.1	-3.3	52.9	54.0	-1.1	74.7	75.7	-1.0
	短答式	40.3	42.2	-1.9	65.3	66.4	-1.1	60.6	61.7	-1.1	65.2	66.6	-1.4	74.9	72.8	2.1
	記述式	29.3	32.5	-3.2	24.3	26.2	-1.9	29.4	31.6	-2.2	41.3	43.9	-2.6	45.4	47.4	-2.0

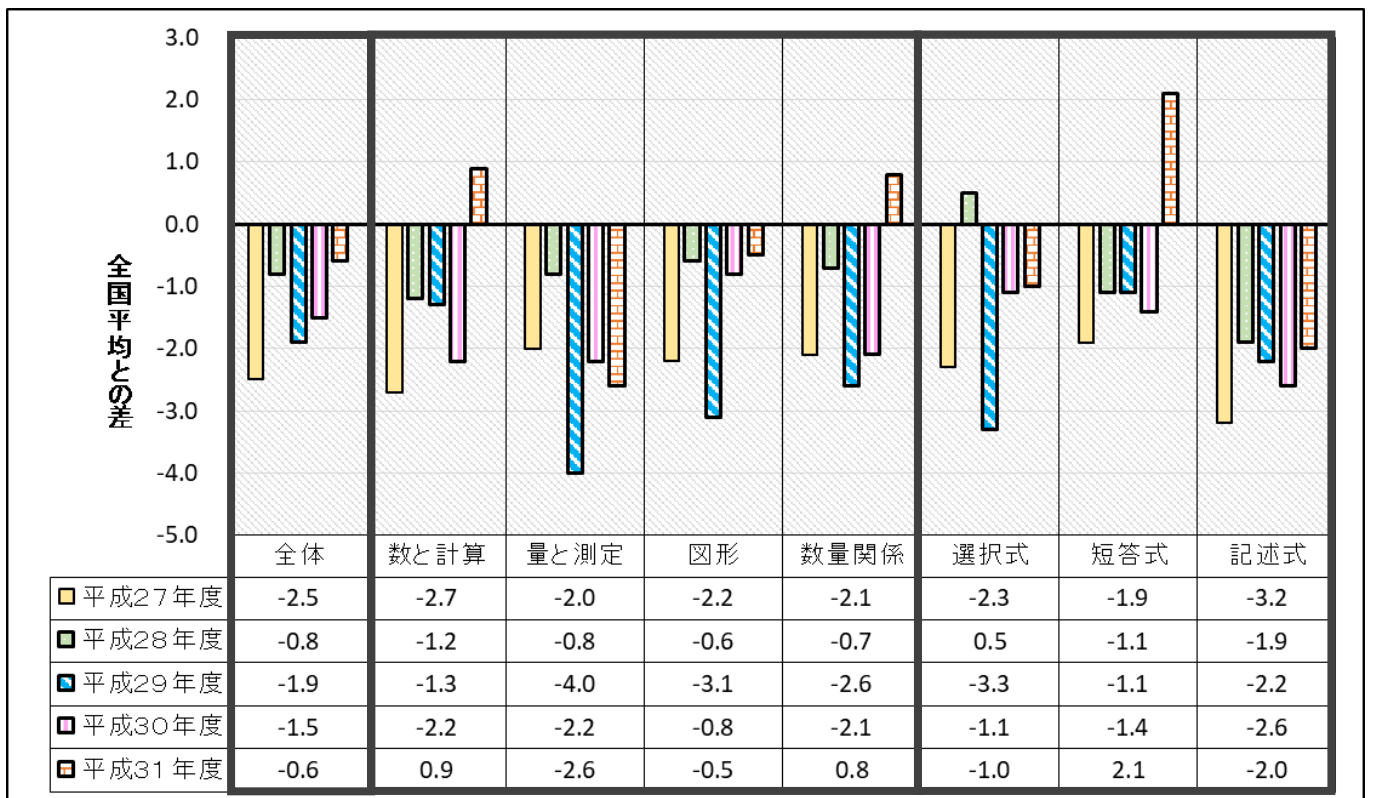


図8 小学校 算数（H27～H31 経年変化）

(3) 中学校 国語

※全国平均との比較について（H27～H30 は国語 B の結果のため、参考資料）

- 「話すこと・聞くこと」、「読むこと」の領域について、全国平均値を下回るものの、昨年度より改善した。
- 「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域について、全国平均値を大きく下回った。
- 「書くこと」、「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」の領域について、3年連続下降傾向にあり、全国平均値との差が大きく開きつつある。

表 10 中学校国語における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）

中学校国語		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
全体		62.8	65.8	-3.0	62.9	66.5	-3.6	71.0	72.2	-1.2	57.0	61.2	-4.2	69.0	72.8	-3.8
学習指導要領の領域等	話すこと・聞くこと	68.3	72.2	-3.9				71.8	72.4	-0.6	71.8	76.6	-4.8	68.2	70.2	-2.0
	書くこと	32.5	36.7	-4.2	53.2	58.3	-5.1	58.8	60.8	-2.0	28.8	31.3	-2.5	78.8	82.6	-3.8
	読むこと	60.0	62.6	-2.6	62.9	66.5	-3.6	70.3	72.1	-1.8	50.2	53.5	-3.3	69.0	72.2	-3.2
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項							39.3	41.4	-2.1	45.3	49.2	-3.9	62.3	67.7	-5.4
問題形式	選択式	77.9	79.0	-1.1	68.1	70.6	-2.5	78.1	79.6	-1.5	62.3	66.7	-4.4	70.0	73.6	-3.6
	短答式				66.0	71.1	-5.1	82.2	84.1	-1.9				49.8	56.8	-7.0
	記述式	32.5	34.8	-2.3	53.2	58.3	-5.1	54.2	55.9	-1.7	47.6	50.3	-2.7	74.5	76.5	-2.0

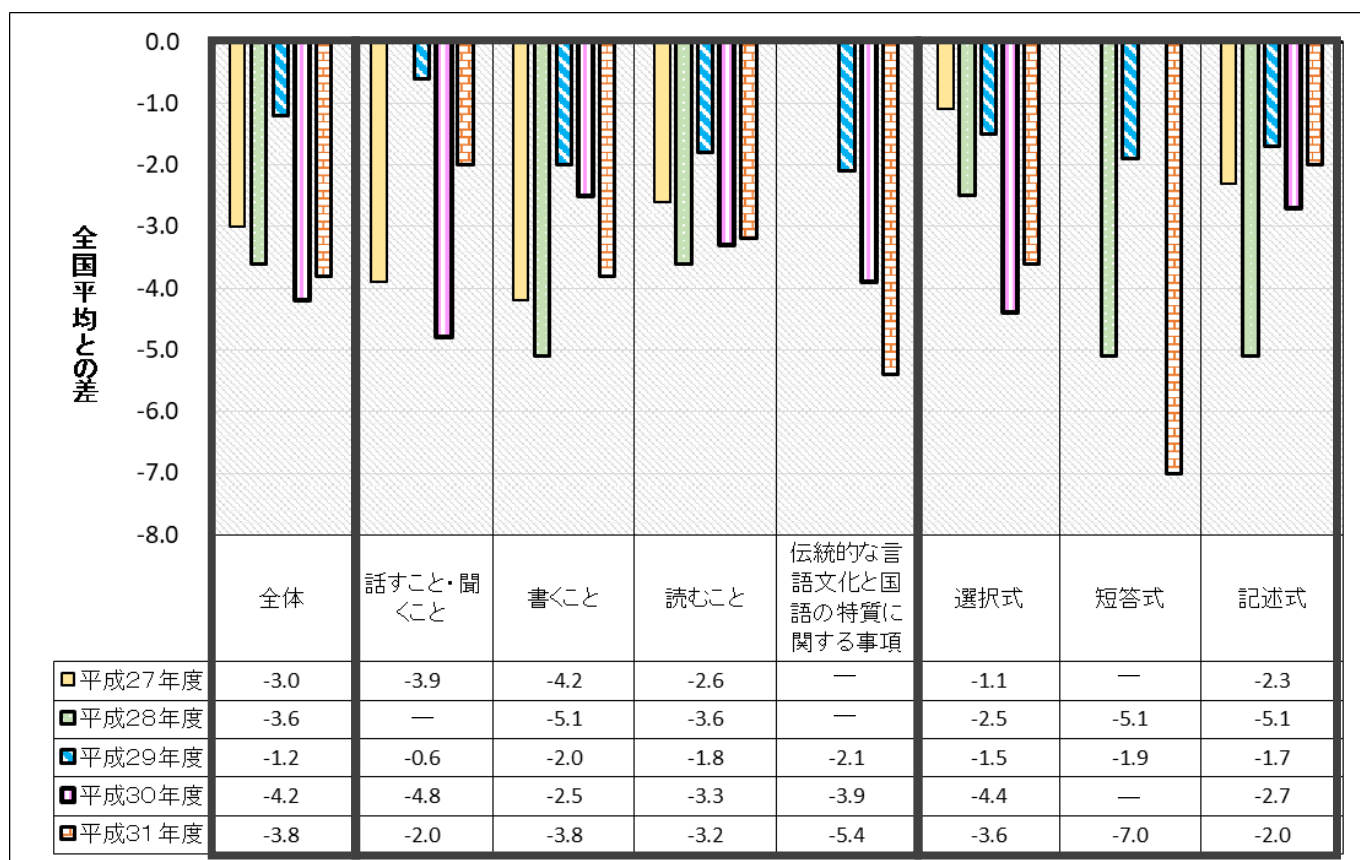


図 9 中学校 国語（H27～H31 経年変化）

(4) 中学校 数学

※全国平均との比較について（H27～H30 は数学 B の結果のため、参考資料）

- 「図形」, 「資料の活用」の領域について, 全国平均値を下回るものの, 昨年度より改善した。
- 「関数」の領域について, 全国平均値を上回った。
- 「数と式」の領域について, 全国平均値を大きく下回った。

表 1 1 中学校数学における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）

中学校数学		平成27年度			平成28年度			平成29年度			平成30年度			平成31年度		
		鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差	鈴鹿市	全国	差
学習指導要領等の領域等	全体	38.4	41.6	-3.2	41.1	44.1	-3.0	45.0	48.1	-3.1	43.0	46.9	-3.9	57.0	59.8	-2.8
	数と式	58.7	63.2	-4.5	47.1	51.5	-4.4	43.3	46.3	-3.0	49.1	51.4	-2.3	58.6	63.8	-5.2
	図形	35.5	39.0	-3.5	29.5	33.3	-3.8	43.7	47.1	-3.4	42.2	46.7	-4.5	70.5	72.4	-1.9
	関数	28.4	30.7	-2.3	41.5	41.4	0.1	48.0	50.8	-2.8	50.1	52.8	-2.7	41.2	40.8	0.4
	資料の活用	28.4	31.2	-2.8	33.3	39.3	-6.0	47.0	49.1	-2.1	32.2	38.0	-5.8	54.6	56.3	-1.7
問題形式	選択式	46.3	47.9	-1.6	40.8	41.3	-0.5	51.2	53.8	-2.6	57.8	61.5	-3.7	57.6	60.3	-2.7
	短答式	43.6	47.4	-3.8	53.2	57.8	-4.6	62.5	66.3	-3.8	51.5	56.2	-4.7	64.1	66.6	-2.5
	記述式	30.8	34.8	-4.0	30.8	33.1	-2.3	19.4	21.7	-2.3	25.2	27.9	-2.7	45.1	47.1	-2.0

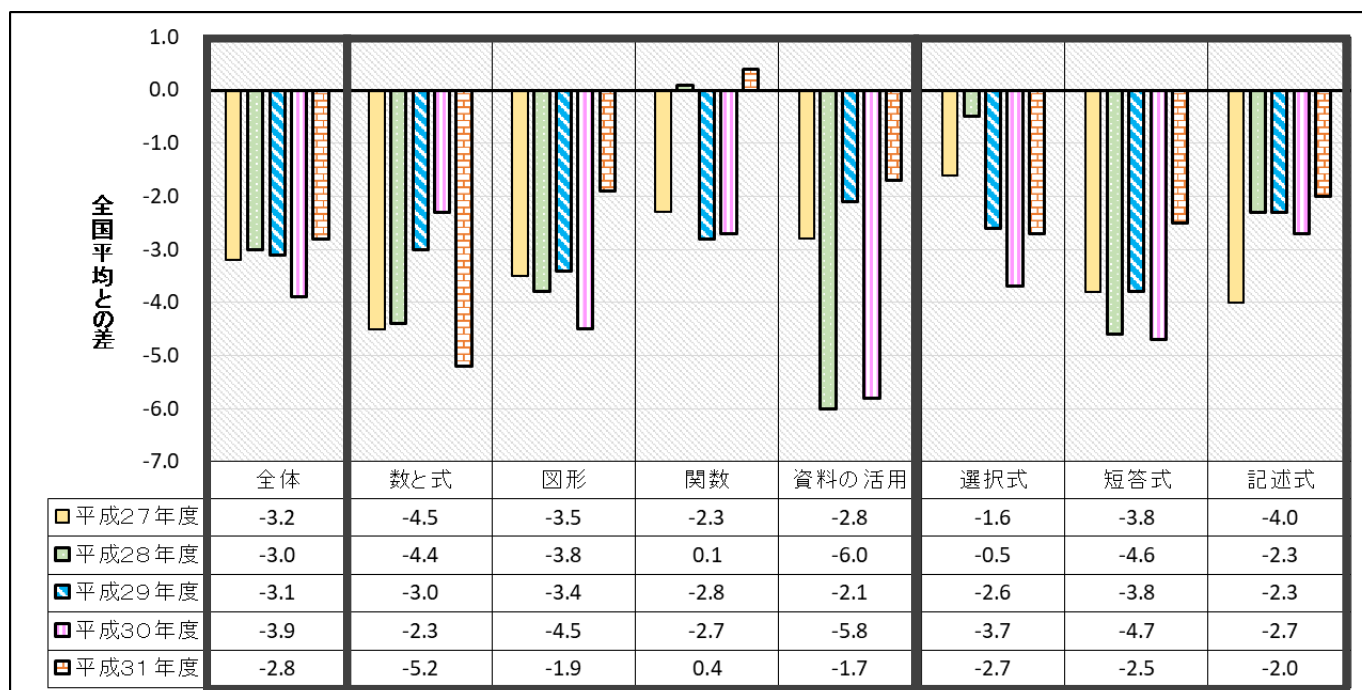


図 1 0 中学校 数学 (H27～H31 経年変化)

(5) 中学校 英語

※全国平均との比較について

- 全ての領域について、全国平均値を下回った。

表 1 2 中学校英語における鈴鹿市と全国の平均正答率の差（領域・問題形式別）

中学校英語		平成31年度		
		鈴鹿市	全国	差
	全体	53.0	56.0	-3.0
学習 指導要領 の領域等	聞くこと	65.4	67.9	-2.5
	話すこと（参考値）			
	読むこと	52.4	55.6	-3.2
	書くこと	43.9	45.8	-1.9
問題形式	選択式	68.7	71.4	-2.7
	短答式	43.2	45.2	-2.0
	記述式	4.8	6.8	-2.0

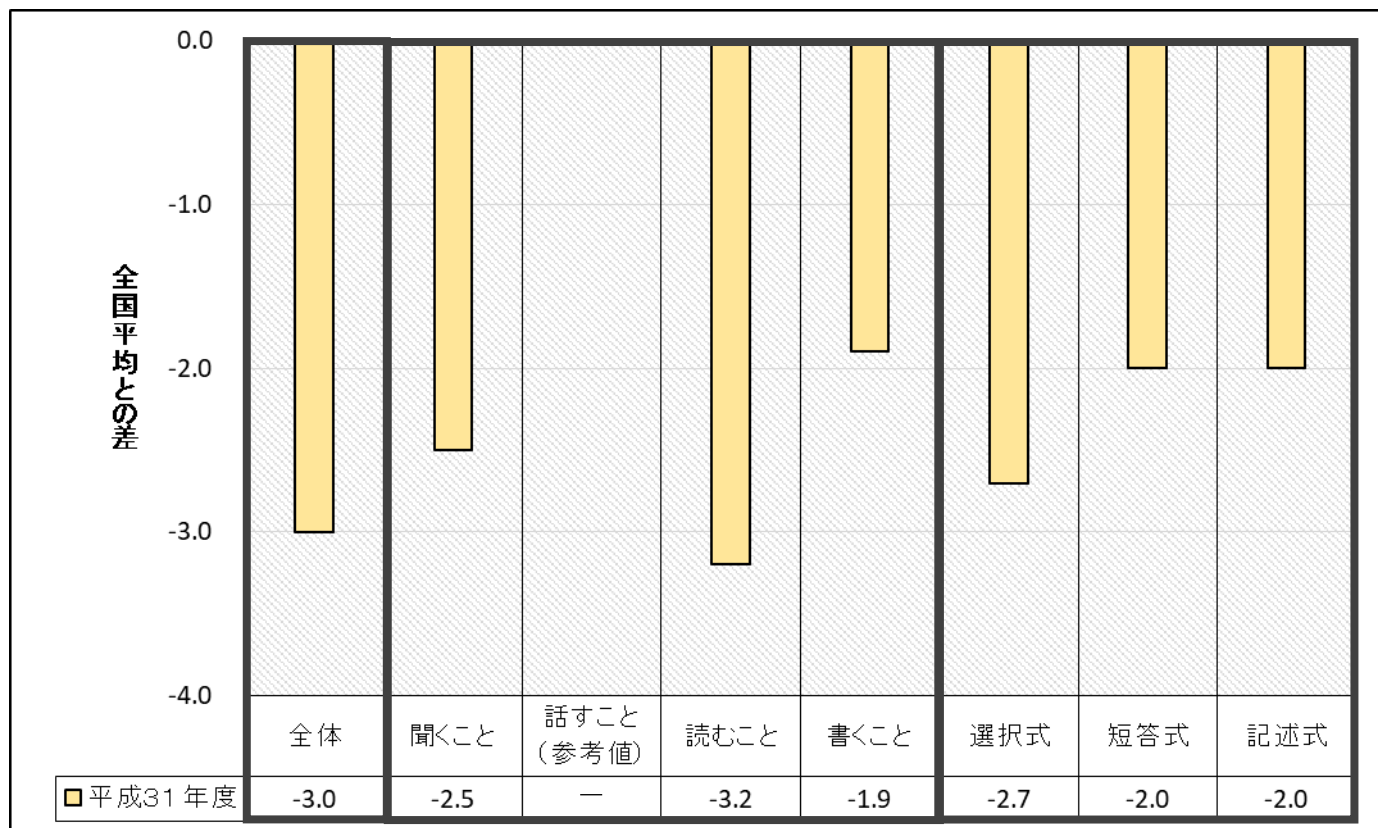


図 1 1 中学校 英語

6

各教科に関する質問紙調査の結果

本稿の見方

- * 質問文は、平成 31 年度調査を掲載。平成 29, 30 年度とわずかに異なる文言の質問については、同質問と捉え、データを記載。
- * 肯定的回答とは、選択肢のうち「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」（または、それに類する選択肢）と回答したそれぞれの割合の合計を指す。
- * 課題とみなした質問項目について、各表の平成 31 年度の鈴鹿市の結果を で囲む。
 ※肯定的回答の割合が 70%未満か、70%以上であっても全国平均より 5 ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。
 ※質問によっては、実態を把握するにとどめ、課題として取り上げなかった項目もある。
- * 児童・生徒質問紙と学校質問紙の両方の結果を合わせ見て、校種・教科別に課題を記載。

(1) 小学校国語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が 70%未満か、70%以上であっても全国平均より 5 ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<児童質問紙調査>

- 国語の勉強が好きと回答している児童の割合
- 自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫すること
- 文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読むこと

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、補充的な学習の指導を行うこと
- 前年度までに、発展的な学習の指導を行うこと
- 前年度までに、書く習慣を付ける授業を行うこと

児童質問紙

表 1 3 児童の「国語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
37	国語の勉強は好きですか	58.4	—	59.1	64.2	▲
38	国語の勉強は大切だと思いますか	89.1	—	92.0	93.0	△

39	国語の授業の内容はよく分かりますか	82.3	—	84.4	84.9	△
40	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	88.0	—	90.6	91.2	△
41	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	—	—	73.9	76.9	△
42	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	—	—	75.1	78.1	△
43	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように理由を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	—	—	63.7	68.5	△
44	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	—	—	67.9	71.4	△
45	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか（※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答）	77.6	—	80.3	80.4	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

表 1 4 児童の「調査問題（国語）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
57	解答時間は十分でしたか（国語）H30 以前は国語 B （※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答）	63.0	73.0	70.1	74.2	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

学校質問紙

表 1 5 「国語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
39	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	80.0	—	83.4	89.0	▲
40	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	56.6	—	46.6	62.4	▲
41	前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	100	—	90.0	94.1	△
42	前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	96.6	—	86.7	92.8	▲
43	前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	80.0	—	96.7	88.2	◎
44	前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	100	—	96.7	98.3	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

(2) 小学校算数に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<児童質問紙調査>

※ 特に課題となる質問項目はない

<学校質問紙調査>

※ 特に課題となる質問項目はない

児童質問紙

表16 児童の「算数の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合(%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
46	算数の勉強は好きですか	66.3	64.7	71.0	68.6	○
47	算数の勉強は大切だと思いますか	91.3	91.8	93.8	93.7	○
48	算数の授業の内容はよくわかりますか	82.5	82.8	84.3	83.5	○
49	算数の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	89.3	91.3	92.9	92.5	○
50	算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	69.2	64.5	76.8	76.5	○
51	算数の授業で新しい問題に出合ったとき、それを解いてみたいと思いますか	76.2	75.1	78.3	79.1	△
52	算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか	81.8	78.9	79.8	82.0	△
53	算数の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考えますか	80.1	78.3	81.8	82.1	△
54	算数の授業で公式やきまりを習うとき、そのわけを理解するようにしていますか	82.4	77.5	82.5	84.0	△
55	算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いていますか	86.3	85.6	86.7	87.0	△
56	言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題がありましたか、どのように解答しましたか(※「全てを書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答)	69.7	71.3	81.1	80.7	○

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

表17 児童の「調査問題(算数)の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合(%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
58	解答時間は十分でしたか(算数) H30以前は算数B(※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答)	45.3	66.0	79.8	84.0	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

学校質問紙

表 1 8 「算数科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
45	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	93.3	96.6	96.7	96.5	○
46	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	73.3	53.4	73.3	72.8	○
47	前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	83.4	76.6	83.3	82.4	○
48	前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	100	93.3	100	97.7	○

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

(3) 中学校国語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が 70%未満か、70%以上であっても全国平均より 5 ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<生徒質問紙調査>

- 国語の勉強が好きと回答している生徒の割合
- 自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫すること
- 文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読むこと

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、発展的な学習の指導を行うこと

生徒質問紙

表 1 9 生徒の「国語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
40	国語の勉強は好きですか	62.3	—	64.4	61.7	○
41	国語の勉強は大切だと思いますか	90.5	—	92.3	91.0	○
42	国語の授業の内容はよく分かりますか	76.7	—	81.0	77.6	○
43	国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.7	—	89.6	88.0	○
44	国語の授業で学習したことを、普段の生活の中で、話したり聞いたり書いたり読んだりするときに活用しようとしていますか	—	—	71.1	71.6	△
45	国語の授業では、目的に応じて、自分の考えを話したり書いたりしていますか	—	—	78.6	77.4	○
46	国語の授業で自分の考えを話したり書いたりするとき、うまく伝わるように根拠を示したりするなど、話や文章の組立てを工夫していますか	—	—	60.7	64.4	△
47	国語の授業で文章や資料を読むとき、目的に応じて、必要な語や文を見つけたり、文章や段落どうしの関係を考えたりしながら読んでいますか	—	—	67.1	68.4	△
48	今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありました。どのように解答しましたか(※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答)	73.9	—	78.8	79.8	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

表 2 0 生徒の「調査問題（国語）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
67	解答時間は十分でしたか（国語）H30 以前は国語 B （※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答）	86.5	82.0	87.8	90.3	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

学校質問紙

表 2 1 「国語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
40	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	90.0	—	90.0	88.9	○
41	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	80.0	—	60.0	74.6	▲
42	前年度までに、目的や相手に応じて話したり聞いたりする授業を行いましたか	90.0	—	100	89.0	◎
43	前年度までに、書く習慣を付ける授業を行いましたか	100	—	100	95.3	○
44	前年度までに、様々な文章を読む習慣を付ける授業を行いましたか	90.0	—	100	89.9	◎
45	前年度までに、漢字・語句など基礎的・基本的な事項を定着させる授業を行いましたか	100	—	100	98.3	○

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

(4) 中学校数学に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が70%未満か、70%以上であっても全国平均より5ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<生徒質問紙調査>

- 数学の勉強が好きと回答している生徒の割合
- 言葉や数、式を使って説明する問題で、最後まで解答を書こうと努力すること

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、補充的な学習の指導を行うこと
- 前年度までに、発展的な学習の指導を行うこと
- 前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行うこと
- 前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行うこと

生徒質問紙

表 2 2 生徒の「数学の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
49	数学の勉強は好きですか	55.4	50.8	54.9	57.9	△
50	数学の勉強は大切だと思いますか	80.4	81.2	83.8	84.2	△
51	数学の授業の内容はよく分かりますか	69.0	71.3	72.5	73.9	△
52	数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	72.6	72.8	76.4	76.2	○
53	言葉や数、式を使って説明する問題がありましたが、どのように解答しましたか(※「全ての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」と回答)	57.3	54.5	59.4	60.8	△

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

表 2 3 生徒の「調査問題(数学)の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
68	解答時間は十分でしたか(数学) H30 以前は数学 B (※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答)	77.7	76.3	84.9	84.7	○

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

学校質問紙

表 2 4 「数学科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H29 鈴鹿市	H30 鈴鹿市	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
46	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	90.0	100	80.0	94.3	▲
47	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	60.0	60.0	60.0	76.5	▲
48	前年度までに、実生活における事象との関連を図った授業を行いましたか	60.0	80.0	70.0	78.1	▲
49	前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか	90.0	100	80.0	96.6	▲

※全国平均との差 ▲<-5≦△<0≦○<+5≦◎

(5) 中学校英語に関する質問紙調査の結果

※肯定的回答の割合が 70%未満か、70%以上であっても全国平均より 5 ポイント以上下回るものについて課題が大きいとみなす。

質問紙調査結果からみえる課題

<生徒質問紙調査>

- 英語の勉強が好きと回答している生徒の割合
 - 英語の授業がよく分かると回答している生徒の割合
 - 1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思うこと
 - 1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思うこと
 - 1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思うこと
 - 1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思うこと
- ※ 質問 58, 59, 69 については、実態を把握するにとどめる

<学校質問紙調査>

- 前年度までに、発展的な学習の指導を行うこと
 - 前年度までに、原稿などの準備をすることなく、(即興で)自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行うこと
 - 前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行うこと
 - 前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行うこと
 - 前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校と行うこと
- ※ 質問 61 については、実態を把握するにとどめる

生徒質問紙

表 2 5 生徒の「英語の学習に対する関心・意欲・態度等」に関する質問における肯定的回答の割合 (%)

H31 質問 番号	質 問	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
54	英語の勉強は好きですか	53.8	56.0	△
55	英語の勉強は大切だと思いますか	83.5	85.4	△
56	英語の授業はよく分かりますか	66.0	66.0	○
57	英語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思いますか	84.4	85.4	△

58	これまで、学校の授業やそのための学習以外で、日常的に英語を使う機会（地域の人や海外にいる人と英語で話す、英語で手紙や電子メールを書く、英語のテレビやホームページを見る、英会話教室に通うなど）が十分にありましたか	31.1	33.8	△
59	将来、積極的に英語を使うような生活をしたり職業に就いたりしたいと思いますか	39.9	41.3	△
60	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	79.0	79.2	△
61	1, 2年生のときに受けた授業では、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる活動が行われていたと思いますか	80.2	81.2	△
62	1, 2年生のときに受けた授業では、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う活動が行われていたと思いますか	58.9	62.9	△
63	1, 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか	57.1	77.2	▲
64	1, 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	74.9	80.1	▲
65	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする活動が行われていたと思いますか	74.0	77.4	△
66	1, 2年生のときに受けた授業では、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする活動が行われていたと思いますか	67.4	74.6	▲

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

表26 生徒の「調査問題（英語）の解答状況」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
69	解答時間は十分でしたか（英語） （※「時間が余った」「ちょうどよかった」と回答）	63.7	63.0	○

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎

学校質問紙

表27 「英語科の指導方法」に関する質問における肯定的回答の割合（％）

H31 質問 番号	質 問	H31 鈴鹿市	H31 全国 (公立)	H31 全国 平均 との差
50	前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか	90.0	91.5	△
51	前年度までに、発展的な学習の指導を行いましたか	60.0	75.4	▲
52	前年度までに、英語を聞いて（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	100	87.2	◎
53	前年度までに、英語を読んで（一文一文ではなく全体の）概要や要点をとらえる言語活動を行いましたか	100	90.9	◎
54	前年度までに、原稿などの準備をすることなく、（即興で）自分の考えや気持ちなどを英語で伝え合う言語活動を行いましたか	30.0	65.1	▲

55	前年度までに、英語でスピーチやプレゼンテーションなど、まとまった内容を英語で発表する言語活動を行いましたか	40.0	80.8	▲
56	前年度までに、自分の考えや気持ちを英語で書く言語活動を行いましたか	100	87.6	◎
57	前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、生徒同士で英語で問答したり意見を述べ合ったりする言語活動を行いましたか	70.0	62.4	◎
58	前年度までに、聞いたり読んだりしたことについて、その内容を英語で書いてまとめたり自分の考えを英語で書いたりする言語活動を行いましたか	60.0	63.5	△
59	前年度までに、生徒が英語に接する機会を増やし、教室を実際のコミュニケーションの場とする観点から、どの程度、授業を英語で行いましたか（※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答）	90.0	86.0	○
60	前年度までに、英語教育に関して、お互いの授業を見て指導方法や指導内容を学び合うなどの連携を小学校とどの程度行いましたか（※「よく行った」「どちらかといえば、行った」と回答）	40.0	48.3	▲
61	年間の授業のうち、どのくらいの頻度でALT（外国語指導助手）を活用した授業を行いましたか（※「ほぼ毎回」「週に数回以上」と回答）	20.0	38.3	▲
62	英語担当教師とALT（外国語指導助手）との間で、授業のねらいや活動の意図、各学級や一人一人の生徒の実態等について共通認識を持ち、協力して授業を行うことができていると思いますか	100	93.4	◎

※全国平均との差 ▲<-5≤△<0≤○<+5≤◎